

「必要なところだけ」  
 合理的な考え方が、施主の負担を減らします。

耐震改修工事費	約132万円
耐震改修設計費	約33万円
工事年度	2021年度
延床面積・築造年・階数	96.89㎡・昭和50年・2階建て



工期短縮!

44日 → **25日**



押入れの天井、床、棚を残したまま最小限の壁を改修することで、工事費、工期を抑えることができます。

### 【所有者のコメント】

予算も限られていたが、費用が安く、補助金が出るということで予算の範囲内に収まったため、改修工事に踏み切れた。

物の移動もあまりなく、カバーとかで済んだところもあった。カバーなども業者が丁寧にしてくれたので、家主の負担はなく、生活の支障はなかった。

工事する中で直したい部分も出て、併せてリフォームもできた。（※リフォームは補助対象外になります）

### 【業者からのコメント】

天井・床を壊さない分、傷つけないように配慮した。

工期が短く済む分、一時的に別の住まいを確保してもらう手間を省くことができ、生活の支障にならなかったことは良かったと思う。

また、施主が生活しながらの工事が可能なので、工事に確認したいことがすぐ確認できたので良かった。